



神之

新宿区立牛込仲之小学校

秋色に染めて

副校長

今年も校庭のさんご樹の実が赤色に色付きはじめ、枝の葉が優しい陰をつくっています。9月2回目の連休明けから急に涼しくなりました。夕方になると、秋の虫たちの声が草木の間から遠慮がちに聞こえてきます。

私は最近、休日に近く公園を散歩しています。木々に覆われた大きな池の周りを歩いていると、カワセミやアゲハ蝶に出会えます。その途中で一か所、遙か遠くの空まで見渡せる場所があり、私はそこが大好きです。公園の池へ流れる川は高台の下にあり、高台にはかつて縄文の人々が暮らした遺跡が残っています。四千年前に暮らしていた人々と同じ空を見ていると思うと、不思議と穏やかで大きな気持ちになります。

3年生が図工で、藍の葉を使って、たたき染めの学習を行いました。自分達だけでやるのではなく、牛込幼稚園の園児たちと一緒にやりました。藍は図工専科や日直が、夏休み中も毎日水をやって、大切に育ててきたものです。

最初にお手本を見せたのは3年生です。ぎざぎざした藍の若葉を摘んで、横長の白い布に置きます。葉が動かないようにセロハンテープで留めて、その上から金づちでトントンたたいて染め出していきます。次に、幼稚園児がやります。3年生は、「どの葉を選ぶ?」「どこに置く?」と優しく聞きながら、園児の手に自分の手を添えて、リズムよくたたいていました。3年生と園児たちは、思い思いの場所に葉を置いては、たたくことを繰り返し、さらに布用のクレヨンで、かわいらしい絵を描いていました。



楽しみはその共同作業だけではありません。たたき出した葉の色は緑色ですが、それを洗って空気にさらすと、鮮やかな青色へと変わります。子どもたちはその劇的な変化に驚き、ずらっと並んだ青色と様々なデザインの作品を改めて見て、満足そうにしていました。

藍染は中国から朝鮮を経て、千五百年前の奈良時代に日本に伝わったそうです。「ジャパン・ブルー」と言われる藍染めは、世界に誇る日本の文化です。秋の虫の音に耳を傾けることやお月見、栗や紅葉など、日本には連綿と受け継がれてきた文化、伝統がたくさんあります。

10月に学校では、季節の変化を感じ取る学習や、日本の伝統文化を体験する学習など、秋ならではの行事や体験活動が続きます。私たち教職員も、子どもたちと一緒に、秋を感じ、楽しんでいきたいと思えます。

学校図書館から

学校図書館支援員

今年度より、海保のかわりにまいりました。

火曜日と木曜日に来ており、図書のための読み聞かせや本の紹介、各授業の支援のため、資料の提供などを行っております。

子どもたちは明るくて元気いっぱい、図書館もよく利用してくれています。

今、図書館には今年度購入した新しい本を桃色の丸シールをつけて展示しております。新しい本の貸出しは、ひとり1冊までです。

読み物や絵本などの他、生き物や、心の本、また、新札が出ましたのでお金の本などもあります。ご自宅でも新しい本をおうちのかたと一緒に見させていただいて、話題にさせていただくと嬉しく思います。まだ慣れないところもございますがどうぞよろしくお願いいたします。

楽しかった 河口湖移動教室

6年生

- 間伐体験では、自然を守る大切さを教えてもらった。これからは自分も自然を守るためにできることをやりたい。
- 木を切るのが楽しかった。将来また木を切ることがあったら、今回のことを生かしてやってみたい。
- 氷穴では蚕を保存しているところを教えてもらった。全ての体験で自然の大切さを学んだ。将来、自然に関わることをしたい。
- BBQでは友達みんなと協力して、調理した。河口湖を見ながらたくさん食べて、たくさんしゃべった。とても楽しかった。
- 河口湖でのカヤック体験では、ペアの友達と力を合わせて一生懸命に漕いだ。指示を出す役割と従う役割があり、とても上手にできた。
- 3日間を通して、友達と協力することと約束を守ることの大切さを実感した。小学校生活最後の宿泊行事は最高だった！
支えてくださった、すべての方へ、感謝！！！！



本校のホームページのQRコードです。ぜひ、アクセスして細かい情報、登校許可証のダウンロードなどにご活用ください。